

## みはま支援学校 第4回学校運営協議会

令和4年度 第4回【2月17日(金)】10:00~12:00

出席者：委員7名 事務局員5名(教頭、事務長、各学部主事)

### 議題

- ①校長挨拶、本日の予定(第4回学校運営協議会)について
- ②今年度の学校運営について
- ③学校評価(児童生徒・保護者・教職員)
- ④学校運営協議会委員による学校評価
- ⑤次年度に向けて

### 学校運営協議会委員による学校評価

- きめ細やかな支援があり、児童生徒にとって居心地の良い学校となっている。卒業後、立ち止まった時の支援を大切にしていって欲しい。ICT機器については、どの先生も対応できるようになっていくべき。
- 二学部生徒のバス停での表情を見るとみはまの様子が見える。通学生も挨拶を交わしてくれる。みはまの存在価値が見える。みはまは必要な学校である。
- 社会と本人が、どう繋がっていくかが大切。ICTを上手く活用しながら繋がりを深めて欲しい。
- 一学部は、コロナで登校が難しい状況ではあるが、病院と連携を取りながら、取り組んで欲しい。はまかぜ教室や松林での活動を活かしながら。
- 先生たちも気持ちよく働いているのではないかと。それが、子供達にも繋がっているのではないかと。合同避難訓練は、子供達も教職員も良い評価。大変だと思うが、今後も継続してほしい。
- 子供達に、様々な情報を与え、関連機関との連携を図り、多様な学びの場を提供していきたい。新しいこと、必要なことにチャレンジさせていきたい。
- みはまの教育相談は、全ての方に評価が高い。開かれた学校づくり。地域を支える存在になっていることを実感する。
- この評価を受け、これからもみはまの教育に推進していただきたい。



- ・障害特性に応じた授業づくり
- ・ICT機器の有効活用の推進
- ・校内外における病弱教育の専門性の充実
- ・防災教育の活動推進
- ・キャリア教育における体験学習の充実



